

ふたつの海。
クジラのいる海、いない海。

でも忘れちゃいけない。
海はひとつ。
必ずどこかで繋がってる。

燐光群創立35周年記念公演 VOL.1

くじらと見た夢

作・演出○坂手洋二

12月19日(火) 岡山市立市民文化ホール

写真○小島曠太郎

燐光群

<http://rinkogun.com>

打ち上げられたクジラたちは、夢を見ているのか。 それとも抗いようのない現実、耐えているのか。

沖縄でのイルカ（ヒトウ、ピトウ）漁は、伝統的なものとして知られているが、戦後の一時期、名護西岸で本格的な捕鯨をしていたことを、最近になって知った。十五年近くはわたって、年間数十頭のザトウクジラを捕っていたのだ。昭和二十六年、「戦後初めての捕鯨」と思しき漁に参加した漁師に、詳しく話を聞いた。

名護東岸、島の反対側に位置する海では、米軍基地キャンプ・シュワブに、普天間基地代替施設としての空港建設が強行されようとしている。同じ名護市なのに、海の風景はまったく違うのだ。

昨冬、かつて『くじらの墓標』を書くため訪れた捕鯨村・鮎川を、震災後には初めて、再訪した。津波の猛威を受けた町並みはすっかりなくなってしまったが、捕鯨は今も続けられていた。

『南洋くじら部隊』の舞台、レンバダ島の捕鯨村ラマレラを、久しぶりに訪れた。電気も電話も貨幣経済もなかった暮らしは近代化の洗礼を浴び、変わってしまった。それでも漁師たちはクジラを捕り続けている。そして、映画『ザ・コープ』等によってイルカ漁が国際的な非難を浴びた和歌山・太地に、初めて行った。捕鯨反対運動は沈静化していたが、それとは無関係に、人々は未来を見つめていた。

私の中で何かが繋がった。捕鯨に携わる家族たちの「伝承」と「共存」の物語が、くっきりと浮上してきた。

『くじらと見た夢』は、私と燐光群による四半世紀にわたるクジラとの旅の、新たな結実となるだろう。

坂手洋二



佐々木梅治 Benjamin Beardsley 円城寺あや 南谷朝子
中山マリ 鴨川てんし 川中健次郎 猪熊恒和 大西孝洋
杉山英之 東谷英人 武山尚史 山村秀勝 樋尾麻衣子
宗像祥子 田中結佳 秋定史枝 橘麦 中瀬良衣

照明○竹林功(龍前正夫舞台照明研究所) 音響○鳥猛(ステージオフィス)
舞台監督○森下紀彦 藤村謡子 美術○加藤ちか じょん万次郎
衣裳○小林巨和 演出助手○村野玲子 文芸助手○清水弥生 久保志乃ぶ
宣伝意匠○高崎勝也 制作○古元道広 近藤順子
協力○劇団民藝 浅井企画 青年座映画放送株式会社 DULL-COLORED POP
e-factory Company Staff○桐畑理佳 鈴木菜子 鈴木陽介 番匠郁 福田陽子
西川大輔 宮島千栄 橋本浩明 内海常葉 秋葉ヨリエ 脇園ひろ美

Coming soon!

日本・タイ・フィリピン合作<アジア共同プロジェクト>
『リタイアメン』(仮題)

作○清水弥生 演出○坂手洋二 ニコン・セタン

2018年1月~2月 森下スタジオ バンコク・チェンマイ・マニラツアー

梅ヶ丘BOX お貸します!

照明・音響・空調完備。芝居の発表会や稽古等にご利用頂けます。約15坪。小田急線梅ヶ丘駅徒歩1分。
スモークマシン、高速白黒印刷機、プロジェクター、スクリーン等のレンタルあり。長期割引あり(応相談)。
お問合せ○グッドフェローズ 03-3426-6294 umegaokabox@gmail.com

燐光群

世田谷区梅丘1-24-14 フリート梅丘202
http://rinkogun.com

12月19日(火)午後7時開演 岡山市立市民文化ホール

受付開始○開演の60分前 客席開場○開演の30分前

※受付開始後に整理券を発行し、客席開場時にその番号順にご入場頂きます。

【全席自由】前売 2,700円 当日 3,000円 大学生以下 1,500円

※大学生以下は要証明書提示

おかやま燐光群を観る会と燐光群でのみ取り扱い

◆チケット取扱い(大学生以下をのぞく)

ぎんざや 086-222-3244

岡山シンフォニーホールチケットセンター 086-234-2010

岡山県天神山文化プラザ 086-226-5005

シネマコレクターズショップ映画の冒険 086-252-7606

10月15日(日)前売開始

◆ご予約・お問合せ

おかやま燐光群を観る会(映画の冒険内)

086-252-7606 yoshitomi@mx3.tiki.ne.jp

燐光群 03-3426-6294

右のQRコードからもお申し込み頂けます。



主催○燐光群 / (有)グッドフェローズ

共催○おかやま燐光群を観る会 岡山市 岡山市芸術祭実行委員会

(公財)岡山市スポーツ・文化振興財団

後援○岡山県 岡山県教育委員会 岡山市教育委員会 RSK山陽放送

OHK岡山放送 TSCテレビせとうち RNC西日本放送 KSB瀬戸内海放送

FM岡山 レディオモモ 山陽新聞社 朝日新聞岡山総局 読売新聞岡山支局

毎日新聞岡山支局 公益社団法人岡山県文化連盟

第55回岡山市芸術祭参加

助成○



公益財団法人 福武教育文化振興財団

平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業



<全国4都市公演> [東京]11月17日(金)~26日(日)座・高円寺

[名古屋]12月12日(火)・13日(水)愛知県芸術劇場[伊丹]12月15日(金)~17日(日)AI・HALL



路面東山行「小橋」下車徒歩1分
※公共交通機関をご利用下さい。
岡山市中区小橋町1-1-30
086-273-0395

<坂手洋二>

劇作家・演出家。岡山芳泉高等学校、慶應義塾大学国文科卒。1983年に燐光群旗揚げ。『くじらの墓標』『天皇と接吻』『屋根裏』『だるまさんがころんだ』等、ほぼ全作品の作・演出を手がける。燐光群の作品を中心に、岸田國士戯曲賞、鶴屋南北戯曲賞、読売文学賞、紀伊國屋演劇賞、朝日舞台芸術賞、読売演劇大賞最優秀演出家賞を受賞。海外でも10以上の言語に翻訳、出版・上演されている。日本劇作家協会前会長。日本演出者協会理事。国際演劇協会日本支部理事。<まなびピア岡山2007>開・閉会式の総合プロデューサーを担当。2012年9月には福武教育文化振興財団創立25周年記念事業[犬島海の劇場]で『内海のクジラ』の作・演出を担当。2005年に岡山県文化特別顕彰、2012年に福武文化賞を受賞。

<燐光群>

1983年旗揚げ。坂手洋二の作・演出作品を中心に、社会性・実験性の高さと、豊かな表現力を兼ね備えた、斬新で意欲的な公演を重ねている。国内での新作発表・ツアーの他、これまで海外15カ国27都市で公演を行う。'99年『天皇と接吻』第7回読売演劇大賞優秀作品賞、'02年『最後の一人までが全体である』第10回読売演劇大賞優秀作品賞、'04年『だるまさんがころんだ』第12回読売演劇大賞選考委員特別賞。2012年『星の息子』、2013年『ここには映画館があった』、2014年『8分間』、2015年『屋根裏』、『お召し列車』、2016年『天使も嘘をつく』と、近年は岡山での上演を続けている。